

Syllabus Id	Syl.-072011
Subject Id	Sub-072-004060
作成年月日	070120
授業科目名	総合英語A General English A
担当教員名	勝呂 譲 (SUGURO Yuzuru)
対象クラス	制御情報工学科4年生
単位数	2履修単位
必修／選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義と演習
実施場所	S4HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

高校卒業程度の英語能力の保持を前提にして、Reading, Writing, Listening, Speakingの4技能をバランスよく、発展的に教授する。必要に応じて、高校初期の水準に戻って基礎を確認する作業を行わせる。投げ込み教材によって会話主体の授業を行うこともあり得る。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

平均的普通高校卒業生が持つ程度の英語力(英検準2級レベル)、年齢にふさわしい一般常識と人間性、学習意欲、忍耐力、従順さ、積極性等を備えたうえで、受講することが望ましい。

学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
	E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成	
D.英語を使用した実践的なコミュニケーション能力を育成する。			

学習・教育目標の達成度検査

- 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
- プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
- 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

- 英検2級程度の英文を理解し、日本語でその大意をまとめることができるようになる。
- 耳で聞く英語の文章や会話の意味・概要を把握し、適切に反応できるようになる。
- 英検2級程度の総合問題に6割程度正答できるようになる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	オリエンテーション、課題テスト	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	X
第2回	Lesson 1	America--School ID Tags Anger Parents	
第3回	Lesson 2	JAPAN--School Trips Become Workplace Visits	
第4回	Lesson 3	BRITAIN--New Pub Hours Cause Concern	
第5回	Lesson 4	The WORLD--Saudi Arabia Debates Women Drivers	
第6回	Lesson 5	AMERICA--Hero Hackers or Common Criminals?	
第7回	Lesson 6	JAPAN--Women-Only Train Cars a Hit...Sort of	
第8回	前期中間試験		×
第9回	Lesson 7	BRITAIN--A New Kind of Masculinity	
第10回	Lesson 8	The WORLD--Cambodian Cows See a Bright Future	
第11回	Lesson 9	AMERICA--Horror Flicks Both Scare and Soothe	

第12回	Lesson 10	JAPAN--A Whale of a Cooking Class	
第13回	Lesson 11	BRITAIN--Man-U Soccer Fans Unhappy	
第14回	Lesson 12	The WORLD--Help for the Homeless	
第15回	前期期末試験		×
第16回	Lesson 13	AMERICA--Parents Go On Strike to Teach Kids a Lesson	
第17回	Lesson 14	JAPAN--Keeping Dementia at Bay	
第18回	Lesson 15	BRITAIN--The World According to the iGeneration	
第19回	Lesson 16	The WORLD--Baby-Making in Asia	
第20回	Lesson 17	AMERICA--Spelling Contest Becomes Media Event	
第21回	Lesson 18	JAPAN--Time for Daylight Saving	
第22回	Lesson 19	BRITAIN--The Debate Over Children	
第23回	後期中間試験		×
第24回	Lesson 20	The WORLD--The Power of Names	
第25回	Lesson 21	AMERICA--Only in America: 5 Short Stories	
第26回	Lesson 22	JAPAN--An Old Acquaintance	
第27回	Lesson 23	BRITAIN--Life Not Easy for Britain's Ethnic Minorities	
第28回	Lesson 24	The WORLD--What the World Needs Now, Part 1	
第29回	Lesson 25	The WORLD--What the World Needs Now, Part 2	
第30回	後期末試験		×

課題

テストの反省レポート等を必要に応じて求める。

オフィスアワー:特に設けない。授業前後の休憩時間等を利用する。

評価方法と基準

評価方法:

テストは原則として既習の範囲からの出題とする。必要に応じて臨時テストを行う。テストは臨時試験も含め、すべて同等の重きを持つものとする。

評価基準:

テスト(含定期試験、臨時試験)による評価:60%、その他の要因・資料による評価:40%(詳細はオリエンテーションで詳しく説明する)

教科書等	The World at a Glance (Richard Best著) 南雲堂発行
先修科目	3学年終了時までの総合英語A,総合英語B, 英語W, 英語C
関連サイトのURL	http://cocet.nime.ac.jp/ COCET3300 https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/ANET2/ ALC NetAcademy 2
授業アンケートへの対応	実力と努力・意欲の具合を公正に判断して評価に反映させるよう心がける。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。